家庭学習の手引き

家庭学習における課題（保護者より）

△勉強をやり始めるまでに時間がかかる。
△どんな自主勉強をやればよいのかわからない。
△もう少し、読書の時間が増えるとよい。
△宿題だけで終わっている。なかなか自主勉強に取り組めない。

２学期・３学期に１回ずつ「家庭学習キャンペーン」を１週間位置付け、全校児童が自分の立てた目標に向けて取り組みます。毎回、保護者の方から上記のような問題点が出されています。家庭学習の習慣をきちんと身に付けるために、どのように家庭学習を進めていけばよいのか、この手引きを参考にしていただければ有り難いです。

＜　学習時間の目安　＞

低学年:20分　　中学年：40分　　高学年：60分

＜　読書時間の目安　＞

低学年:10分　　中学年：20分　　高学年：30分

＜　各家庭での工夫　＞

◎やる気にさせるために・・・

〇ルールを決めたり、目標をもたせたりする。

・学校から帰ってきたら、まず宿題をやる。その後、テレビを見たり、友達と遊んだりしてもよいというルールをつくる。
・夕飯までに勉強を終わらせるという約束をつくる。
・自分なりの目標を立てて取り組む。「漢字をノート〇ページやる。」など

〇ほめる、認める。

・ドリル等の答え合わせを一緒にやり、全部できていたら褒める。（低学年）
・傍で、がんばるように声をかけて、励ます。（低学年）
・勉強をしている時は、あまり干渉せず、できたら「がんばったね。」とほめる。（高学年）

〇親も同じ気持ちになってやる。

・分からない問題を一緒に考える。
・一緒にテレビのニュースなどを見て、そのことを話題にする。
・テスト直しはその日のうちに、なぜその答えになるのかを確認させる。

◎集中して取り組ませるために

〇見通しをもって取り組ませる。

・１週間のスケジュールを考え、学習開始時刻を決める。
・タイマーを使って、時間を知らせる。
・３０分やったら１０分休み、などのサイクルをつくる。

〇集中できるような環境を工夫する。

・「～しながらの勉強」ではなく、静かな環境をつくる。
・宿題をやっているときは、テレビをつけない。
・机の周りに余分なものを置かず、集中できる環境をつくる。

◎学力の定着を図るために

「ドリル学習」の答え合わせ・間違い直しを確実に

・ドリル学習は漢字・計算ともに「２回」を基準にしています。
・ドリルなど、間違ったところは、その番号に赤丸を付けます。どんな間違いをしたのかやり直して、正しい答えになったかを確かめます。２回目は間違えた問題に気を付けて、正しく解けると力がつきます。また、３回目にも進んで取り組めると、さらに力がつきます。
・高学年になるにつれ、保護者の目が離れがちになり、ドリルの答え合わせがしっかりできず、間違えたままになっている実態があります。いい加減なドリル学習では、誤ったまま覚えてしまう危険性があります。お子さんのノートを見ていただき、励ましや見届けをお願いします。

タブレット学習を取り入れる

町から貸し出されているタブレットの中に、「e ライブラリ」「GifuWeb ラーニング」というショートカットがあります。ログイン画面で、学校コード、ログインＩＤ、パスワードを入力してください。分からない場合は、担任にお問い合わせください。

「読み取る力」、「書く力」をのばそう

中小学校では、内容を正しく読み取ったり、自分の考えをまとめ、表現したりする力がやや弱い傾向にあることがわかりました。学校では、国語の学習を中心とした授業において、自分の考えをまとめるときには、目的や意図に応じた文章の構成や表現ができるように指導しています。また、高学年では、ニュースを読んで、その内容をまとめたり、自分なりの感想を仲間に伝えたりする活動も位置付けています。

家庭学習においても「書く力」の基礎を培うために、「視写」（文章をそのまま写す）に取り組むこともよいかと思います。時間を決めて、教科書の文章、図や表、説明文などをノートにていねいに写すことで「て、に、を、は」の使い方や文章の構成、絵や図を使ったわかりやすいまとめ方など、各学年に応じて学習していくことができます。高学年では、ぜひ家庭学習でも関心のある記事の感想を書きまとめることに取り組めるとよいです。

毎学期行われる「ノート展」では、全校一斉に、下記のような**「書き方名人５ヶ条」**を意識して取り組んでいます。

＜書き方名人５ヶ条：こんなノートをめざそう＞
①（ページをとばさずに）下じきをしく→日にち→題名
② ていねいに（字、線やマス目にあわせて、線は定規で）
③ 課題は赤、まとめは青
④ 自分の考えを書く（まちがいは残して）
⑤ 大切なところは色で強調、番号や矢印で分かりやすく

小学校　6年生

☆こつこつと，毎日やろう。

・同じ場所で　勉強しよう。
・６０分をめやすに，毎日続けよう。
・おかしを食べながら，テレビを見ながらの「ながら勉強」は，やめよう。

☆規則正しい生活をしよう。

・早寝，早起きをして，朝ごはんは必ず食べ，朝うんちをしよう。
・家族の一人として，進んで家の手伝いをしよう。
・学校に持っていくものは，前の日に確かめよう。

①さあ，始めるよ

○つくえの上はきれいかな？テレビを消して，始めましょう。
○始めに，宿題をします。その後，自主学習にも取り組みましょう。

②こんなことをします

＜宿題では＞

音読
○大きな声で，すらすらと　正しく　音読します。
○音読は，家の人に聞いてもらい，カードに印を書いてもらいます。

漢字ドリル
○漢字ドリルは，書き順や文字の形に気をつけて，ていねいに書きます。
○最後にまちがった字がないか，見直します。
○ただ書き写すだけでなく，確実に覚えられるように，練習の仕方を工夫します。
○学校で指定された分を取り組みます。計画的に進めます。

計算ドリル
○途中の計算を残します。（見直しのとき，どこで間違っているかわかるように）
○自分で答え合わせをします。まちがった問題は，もう一度やり直します。
○学校で学習した内容のページより先へは，進みません。２回目以後は，計画的に進めます。

感想文
○様々なニュースをまとめ、感想を書きます。

視写
○様々な教科書の中から選んでプリントにていねいに書き写します。

＜自主学習では＞

国語
○ローマ字の読み書きが確実にできるように練習しましょう。
○分からない言葉，ことわざ，慣用句，四字熟語などの意味を辞典で調べ，それらを使って，短い文を作ってみましょう。
○進んで読書をし，感想文をノートに書いてみましょう。

社会
○新聞やニュースをもとに，日本や外国の様子について調べてみましょう。
○都道府県の位置や県庁所在地を地図で確かめましょう。
○学習した歴史上の人物について調べ，ノートにまとめてみましょう。
○学習した時代を年表に整理して，おもなできごとについて調べてみましょう。
○次の学習の内容を、教科書で確かめましょう。

算数
○教科書の例題，えん筆問題，練習問題をもう一度くりかえしやってみましょう。
○前の学年の教科書やドリルの問題にとり組んでみましょう。

理科
○学習したことを振り返り，実験の仕方や実験器具など絵や図を使ってノートにまとめてみましょう。
○「なぜかな」と思ったことを図鑑や本で調べてみましょう。
○次の学習の内容を、教科書で確かめましょう。

③勉強が終わったら

○えん筆をけずり，筆箱の中みをそろえましょう。
○明日の予定を見て，教科書，ノート，下じきをそろえ，かばんに入れましょう。
○特別に必要な持ち物も，忘れずに準備しましょう。